

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	集会施設等整備					継続						
コード	18	-	23	-	01	-	00	予算事業名	集会施設等整備			
担当部署	市民部	市民活動支援課	自治振興担当	予算事業コード	会計	10	款	02	項	01	目	11

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合

基本目標(章)	6章	人と人のつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	根拠となる法令、条例等	川越市コミュニティ活動推進事業補助金
方向性(節)	1節	ふれあいと思いやりのある地域社会の形成	個別計画等の名称	なし
施策	1	地域コミュニティ活動の推進		
細施策	1	コミュニティ施設の充実		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	自治会集会施設の修繕等の整備を支援し、コミュニティ活動の推進を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	自治会集会施設の修繕・増改築、集会施設用地の賃貸借、自治会会議会場借り上げ等に対し補助金を交付する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		36,294	36,278	31,276	40,817	42,676	
事業費	A	35,229	32,255	31,098	38,217	39,944	39,944
	B	962	962	962	962	962	962
総コスト(C=A+B)		36,191	33,217	32,060	39,179	40,906	40,906
正規職員(1年間の従事人数)		0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		36,191	33,217	32,060	39,179	40,906	40,906

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

活動	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
活動	補助金交付件数	件	107	95	104	125	増築・改築・修繕、用地賃貸借、会場借り上げ料補助事業の合計
中心指標の考え方	本事業は、自治会活動の拠点となる集会施設の整備等を支援する活動であるので活動指標を評価する。						
指標に基づく評価	自治会活動の拠点となる集会施設の多くが老朽化しており、畳の表替え、エアコン設置、屋根塗装等の修繕、また集会施設用地の賃貸借の補助金交付により自治会活動を活性化していく必要がある。						

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題 効率性に課題
集会施設の建築年代、構造等も様々で修繕の事業内容、補助金額も一様ではない。今後も集会施設のバリアフリー化、設備に更新など多くの課題を抱えており、申請件数も増加するものと想定する。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
平成23年度中核市への調査(川越市調査):川越市と同様に修繕計画書を提出させ予算化する市と、予算総額を設定しその範囲内で補助金を按分する市に分けられる。補助金の見直しを検討している市は多くない。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
集会施設の修繕等を自治会費で賄うには自治会費の増額分を積立てる以外に方法はないと思いますが、会員の反発も予想され自治会離れが加速するおそれがある。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
施設の老朽化に伴い、申請件数、補助金総額が毎年増えているが、市の予算も限られており、緊急性・必要性を見極め、真に必要な修繕を行っていくことが求められる。	